

R6年度の取り組み ～R5年度 厚労省委託事業「連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業」の取組を継続～
人工呼吸器を使用している在宅療養者の「個別避難計画」のモデル作成を通し、災害時における効率的な安否確認や情報共有、避難先の調整等の課題に対して具体的な対応策を検討し、今後の医療依存度の高い在宅療養者の個別避難計画の作成拡大につなげる。

第3回 地域BCP策定に向けたワーキンググループ

○日 時：令和6年11月22日（金）19時～

○内 容：個別避難計画モデル作成の状況を踏まえた課題及び対応策についての検討

○構成団体：柏市医師会，柏市訪問看護ステーション連絡会，柏市介護支援専門員協議会
柏市介護サービス事業者協議会

〈行政〉防災安全課，福祉政策課，障害福祉課，地域医療推進課（事務局）

【概 要】

在宅で人工呼吸器を使用しているALS患者2名の個別避難計画を，訪問看護師が中心となり作成

課題	取組みの方向性
在宅療養者の 安否確認・情報共有	- 人工呼吸器を使用している在宅療養者の情報集約の体制整備（対象者リストの整備，安否情報の集約 等） - カシワニネットを活用した支援者間の情報共有の仕組みづくり
非常用電源の確保	- 蓄電池購入費用の助成 - 電源供給体制の整備（蓄電池の充電可能な場所の確保等）
避難先の確保	人工呼吸器を使用している在宅療養者の受入可能な施設の検討（非常用電源設備のある施設，福祉避難所 等）

個別避難計画の作成方針：優先順位の高い対象者(※)から順次作成

※ 要介護4,5の方（K-net登録者），人工呼吸器を使用している方